

第 98 回宮崎大学眼科研究会

日本眼科学会専門医制度生涯教育認定事業 (59046)

◆日 時：令和 8 年 7 月 18 日（土） 16:10～19:00

◆会 場：エアラインホテル

宮崎市橘通西 3 丁目 10 番 19 号 TEL：0985-29-7070

◆会 費：2,000 円

— 日本眼科学会専門医制度登録証（カード）を必ずご持参ください。 —

～ プログラム ～

【宮崎大学医学部眼科学教室同窓会総会】

16:10～16:30

【宮崎県眼科医会保険研究会】

16:30～16:50

『全国審査委員連絡協議会報告』

もりやま眼科 院長 森山重人 先生

【特別講演】

16:50～19:00

特別講演 I 16:50～17:50

座長 宮崎大学眼科 准教授 中馬 秀樹

『宮崎大学医学部附属病院 眼科専門外来の症例から』

宮崎大学眼科 林 俊平先生 河野資之 先生 林田 陽 先生

～ 休 憩 17:50～18:00 ～

特別講演 II 18:00～19:00

座長 宮崎大学眼科 教授 池田 康博

『眼部腫瘍性疾患の診断・治療』

奈良県立医科大学眼科 教授 加瀬 諭 先生

特別講演Ⅰ 16:50～17:50

『宮崎大学医学部附属病院 眼科専門外来の症例から』

宮崎大学眼科 林 俊平先生 河野 資之 先生 林田 陽 先生

本講演では宮崎大学眼科専門外来のうち、小児神経外来、ぶどう膜炎外来、未熟児網膜症外来で経験した症例を提示し、各専門外来の現状とあわせて紹介する。

小児神経外来：神経眼科の症例は、小児神経外来だけでなく、一般外来、院内コンサルトで広く受け入れている。視神経疾患、複視、中枢性神経疾患、機能性疾患を含む幅広い神経眼科の分野を扱っている。当院も参加した視神経炎に対するサトラリズマブや IVIG の多施設共同研究や、甲状腺眼症の新規治療経過、特発性眼瞼痙攣の新規治療薬の多施設共同研究の結果を提示したい。

未熟児網膜症外来：当院の NICU で産まれた低出生体重児の未熟児網膜症 (ROP) のスクリーニング、治療およびその後の経過観察を行っている。近年の NICU の出生数や分布、未熟児網膜症の発症数やこれらの推移について検討する。典型 ROP、aggressive ROP の代表症例について提示する。

ぶどう膜炎外来：サルコイドーシスや原田病など頻度の高いものをはじめ、サイトメガロウイルス網膜炎に対する抗ウイルス薬投与、悪性リンパ腫へのメトトレキサート硝子体内注射などの診療を行っている。

特別講演Ⅱ 18:00～19:00

『眼部腫瘍性疾患の診断・治療』

奈良県立医科大学眼科 教授 加瀬 諭 先生

眼部にはさまざまな腫瘍性病変が発生します。実際には結膜・眼瞼を含む眼表面から眼窩、眼周囲、ひいては眼内にも腫瘍はみられます。眼部の隆起性病変がみられたら、まずは腫瘍性疾患を否定すべきです。なぜなら、眼腫瘍には良性腫瘍・悪性腫瘍が発生しますが、悪性腫瘍の診断の遅延は、患者の視力予後だけでなく、結果的に生命予後にも影響を及ぼすからです。しかし困ったことに、眼腫瘍は必ずしも隆起をする形態を取るわけではありません。いわゆる仮面症候群と包括される炎症性病変、変性疾患との鑑別が困難な症例もあります。そのような症例では、早急な生検や細胞診による病理学的検討を要することがあります。そのため、診断が困難な症例に関しては、眼部の腫瘍性疾患の知識が必須ですし、その鑑別を要する疾患にも精通する必要があります。本講演では、眼部の代表的な様々な腫瘍性疾患を紹介し、その診断のポイントと治療について概説し、皆様におきまして少しでも腫瘍性疾患の診断技術が向上することを期待します。